

北地域まちづくり新聞

かわら版

第52号

2017.3.1

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域振興課

第2回福祉のつどいを開催しました ～福祉部会～

1月28日(土)健康文化センター4階ほほえみホールにて、『第2回福祉のつどい』を開催しました。今回のテーマは、『認知症高齢者を地域で見守るために』。

まず認知症家族の方たちの事例発表がありました。家族の一員が認知症になり、買い物の偏りなどの日常生活の支障が生じました。そんな中、地域の方やケアマネージャーの方の協力もあり、なんとか乗り越えたことについてお話いただきました。

休憩時には、脳トレ運動を実施。日頃から脳トレをすることで脳が活性化されるなど、



◀ 認知症ご家族がいる方の事例発表(有料老人ホーム副施設長)



▶▶ 両手を使ってグーパー脳トレ体操(地域包括支援センター那須さん)



▲左から、後藤卓郎さん(北地域自治組織福祉部会)、飯盛茂子さん(修文大学准教授)、井上健さん(地域包括支援センター)、森真希子さん(社会福祉協議会)、大森明さん(民生委員児童委員協議会)

脳トレの重要性について学びました。

パネルディスカッションでは、それぞれのパネラーから認知症の症状や対応についてお話いただきました。

「多くの方々にご参加いただき、認知症の話をも真剣に聞かれる姿を見て、皆さんとも関心があることだと感じました。」と伊澤清部会長。

私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

堀尾史蹟顕彰会

4/2 金助桜まつり・出発式・堀尾社例大祭
堀尾史蹟顕彰会の会員を募集しています。

お問い合わせ 顕彰会事務局 95-3121



LOKUMA
OPEN POSSIBILITIES

「ものづくりで可能性を切り拓く」ということ。

「大口町まちづくり協働フォーラム2017」に参加！



© Can Stock Photo

2月12日（日）健康文化センター4階ほほえみホールにて大口町とまちねっと大口主催の『大口町まちづくり協働フォーラム2017』に参加しました。

会場には、町内で活動されている様々な団体の皆さんを始め、まちづくりに関心のある方々が、大勢、参加される中、大口町のまちづくりの“これまでとこれから”について、地域問題研究所の主席研究員：加藤栄司さんからお話をいただいた後、安城市社会福祉協議会の吉村了子さんからは、「多様な主体が連携するまちづくり」について、協働の事例を紹介いただきました。

パネルディスカッションでは、大口町南地域自治組織会長や大口さくらメイト会長、ウィル大口スポーツクラブ事務局長などの皆さんがパネラーとなり、それぞれ団体の活動状況と「^{まち}の未来」について思いを語られ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

会の最後に、加藤さんから『多様な協働で地域課題解決』という言葉を受け、改めて協働を進めることの必要性を感じました。



～ 地域委員会の報告について ～

1月下旬から2月上旬にかけて、各地域にて地域委員会が開催されました。現時点の北地域自治組織の活動状況について報告した後、意見交換が行われ、様々な意見が出されました。現在、地域計画を作成していますが、今回頂いた意見も参考に、平成29年度以降の北地域まちづくりに活かしていきたいと思っております。

《今回出た意見》

- 交通安全プロジェクトとして、通学路の草刈りをしてみてはどうか。
- ガードレールや安全ポールの破損などを監視。
- 犬のフンがそのままにされていることがよくある。
- 声かけなどといった見守りをしていきたい。
- 行政区と一緒に『ごみゼロ運動』を！

～自分の身を守るために～

○ シートベルトを忘れずに着用を！

○ 飲酒運転は「しない」「させない」「許さない」の徹底を！



自動車運転や乗車時は、自分の命を守るために必ずシートベルトを着用しましょう。

また、3月は、歓送迎会やお花見などの機会が多い時期であるため、飲酒の機会も多くなります。飲酒運転は法律で禁じられています。美味しく飲むためにも、飲酒する時や飲酒した時は、自動車や自転車に乗らないでください。